

atect

決算説明資料

2009年3月期第1四半期

atect

JASDAQ
Listed Company 4241

2008年8月
株式会社アテクト
IR担当

第1部 2009年3月期 第1四半期概要

P3

第2部 2009年3月期 通期予想

P19

配当政策

P24

第3部 参考資料

P25

中期計画数値目標

P26

IRカレンダー

P29

第1部

atect

第1四半期概要

[連結]

売上高----【 10億 7,610万円 】

前期比131.3%

- ① 半導体資材事業がフラットパネルディスプレイの堅調な伸びに支えられ売上高増加
- ② 連結子会社化した(株)ダイプラの液晶ディスプレイ用ガラス搬送設備の部品等の売上高追加

経常利益---【 3,446万円 】

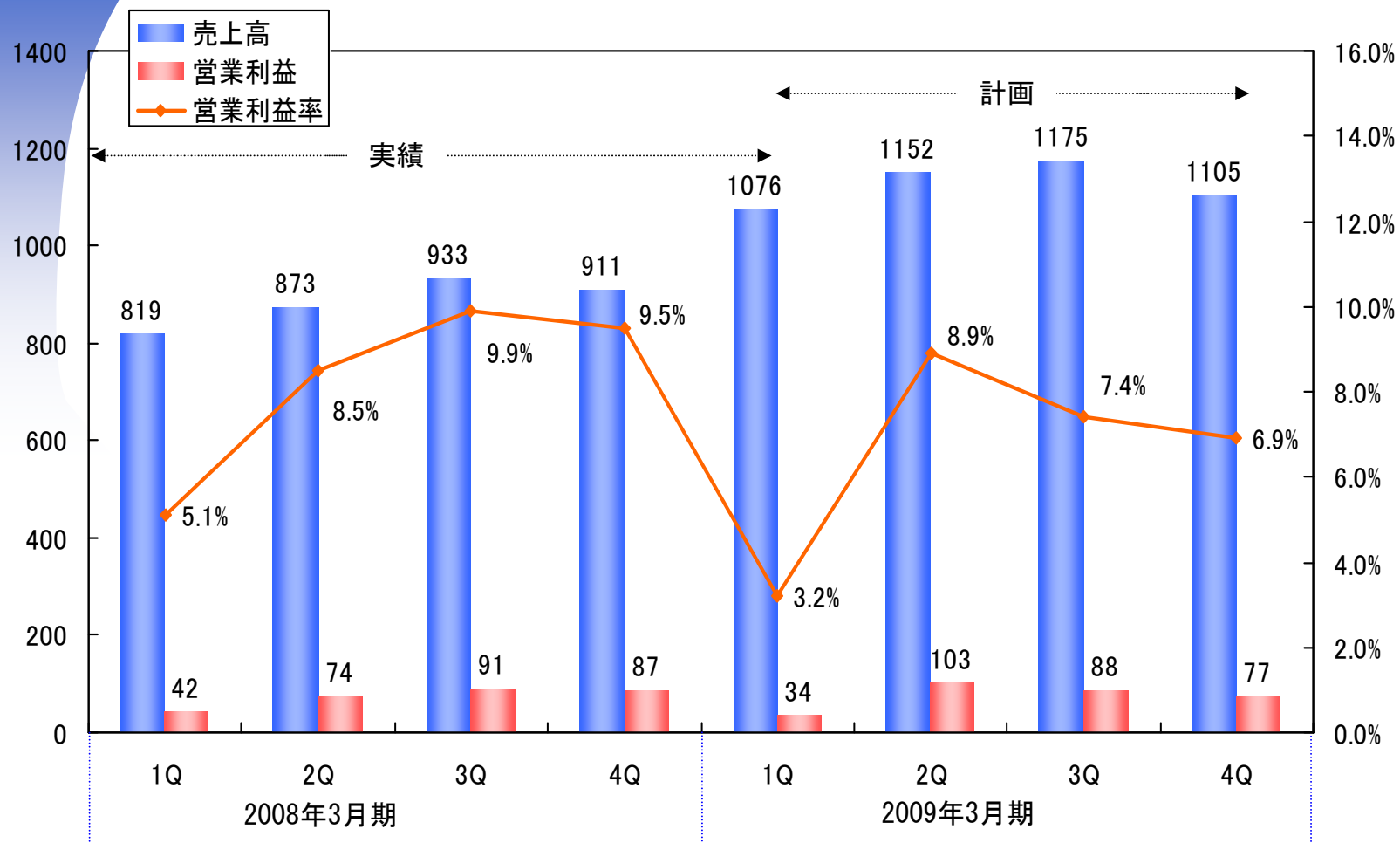
前期比97.6%

- ① 2008年に子会社化したトライアル(株)と(株)ダイプラののれん償却
- ② アテクトコリア立ち上げに伴い採用した人員の人件費増加
- ③ 設備投資による減価償却費の増加

(単位:百万円)

	08年3月期 第1四半期 (個別)	09年3月期 第1四半期 (個別)	前期比 (個別)	通期予算 進捗率 (個別)	08年3月期 第1四半期 (連結)	09年3月期 第1四半期 (連結)	前期比 (連結)	通期予算 進捗率 (連結)
売上高	819	922	+12.6%	24.6%	819	1,076	+31.3%	23.9%
売上総利益	253	307			253	305		
(粗利益率)	(30.9%)	(33.3%)		-	(30.9%)	(28.3%)		-
(販管費比率)	(25.5%)	(21.8%)		-	(25.7%)	(25.1%)		-
営業利益	44	106	+140.9%	28.4%	42	34	-18.9%	10.9%
(営業利益率)	(5.4%)	(11.5%)		-	(5.2%)	(3.2%)		-
経常利益	40	103	+157.5%	28.5%	35	34	-2.3%	12.0%
(経常利益率)	(4.9%)	(11.2%)		-	(4.3%)	(3.2%)		-
四半期純利益	24	48	+100.0%	22.6%	19	▲12		

営業利益率: アテクトコア、トライアルの本格稼働に伴い、第2Q以降改善の見通し



(百万円)

	08年3月期 第1四半期 (連結)	構成比 %	09年3月期 第1四半期 (連結)	構成比 %	前期比 %
流動資産	1,720	46.9	1,738	40.2	101.0
現金及び預金	560		433		
受取手形、売掛金	722		822		
たな卸資産	350		402		
その他	86		78		
固定資産	1,950	53.1	2,582	59.8	132.4
有形固定資産	1,758		2,188		
無形固定資産	42		228		
投資その他の資産	149		164		
資産合計	3,670	100.0	4,320	100.0	117.7
流動負債	1,543	42.1	1,838	42.5	119.1
支払手形、買掛金	558		529		
借入金、社債	821		947		
その他	162		360		
固定負債	155	4.2	512	11.9	330.3
借入金、社債	135		496		
その他	20		15		
負債合計	1,699	46.3	2,350	54.4	138.3
株主資本	1,963	53.5	2,038	47.2	103.8
資本金	729		729		
資本剰余金	649		649		
利益剰余金	683		758		
自己株式	△99		▲99		
評価・換算差額等	0	1.1	▲70		
為替換算調整勘定	8	0	▲70		
純資産合計	1,971	53.7	1,969	45.6	99.9
負債純資産合計	3,670	100.0	4,320	100.0	117.7
有利子負債	957		1,443		

トライアル及び、
ダイプラの子会
社化による影響



- ・のれんの増加
- ・建物や機械等の「有形固定資産」増加
- ・子会社化及びそれに伴う運転資金のため「借入金」増加

- ・ 前期はアテクトコアの増資があったため、投資CFは大幅に改善
- ・ 4月末にダイプラを子会社化したことにより期末現預金残高が増加

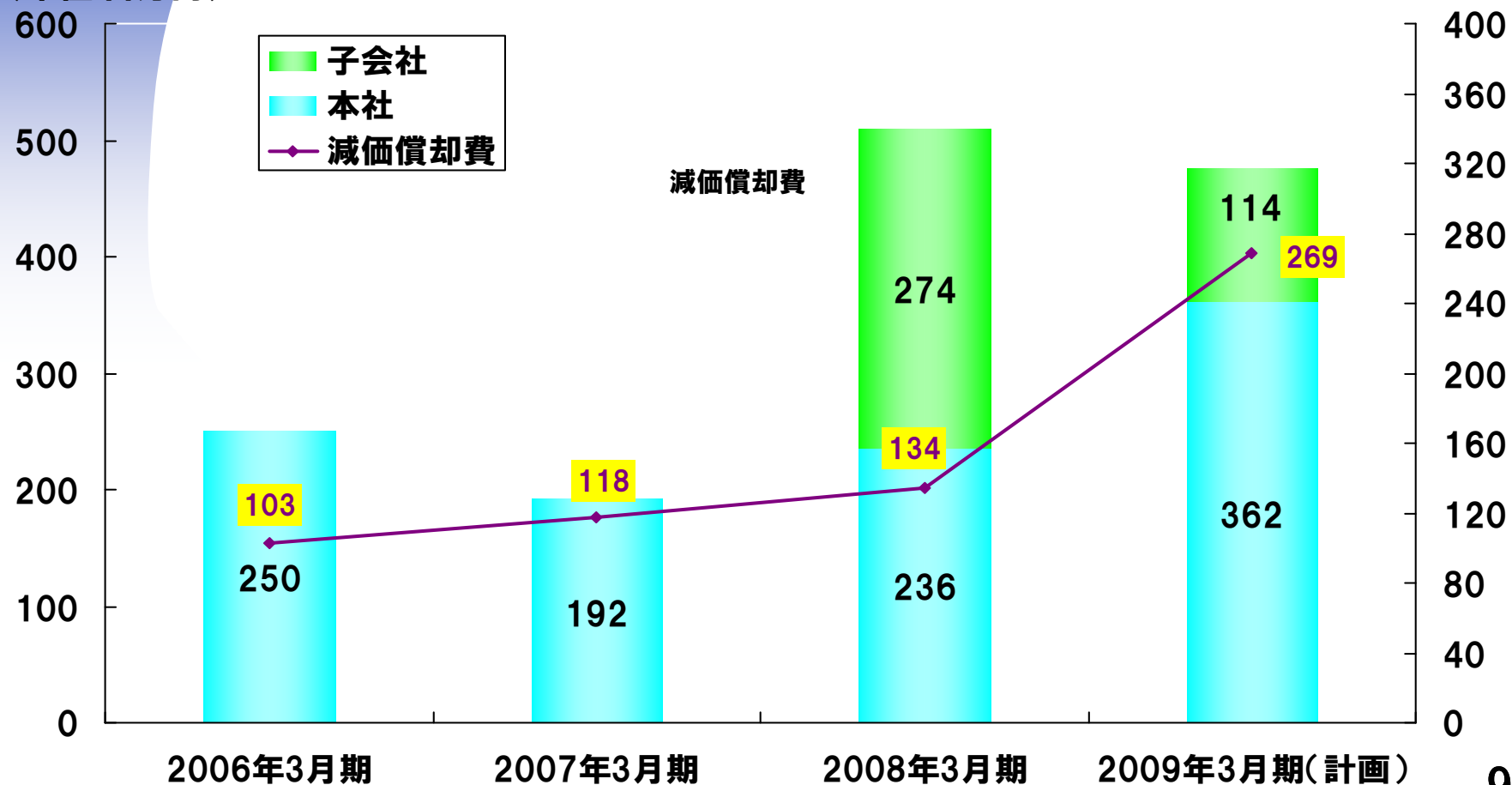
	2008年3月期 第1四半期 (個別)	2009年3月期 第1四半期 (連結)	2008年3月期 事業年度 (連結)
営業活動によるCF	△ 63	5	46
投資活動によるCF	△ 418	△ 79	△ 256
財務活動によるCF	343	15	248
期末残高	232	433	370
期末残高増減	△ 138	-	38

* 会計監査前の概算値

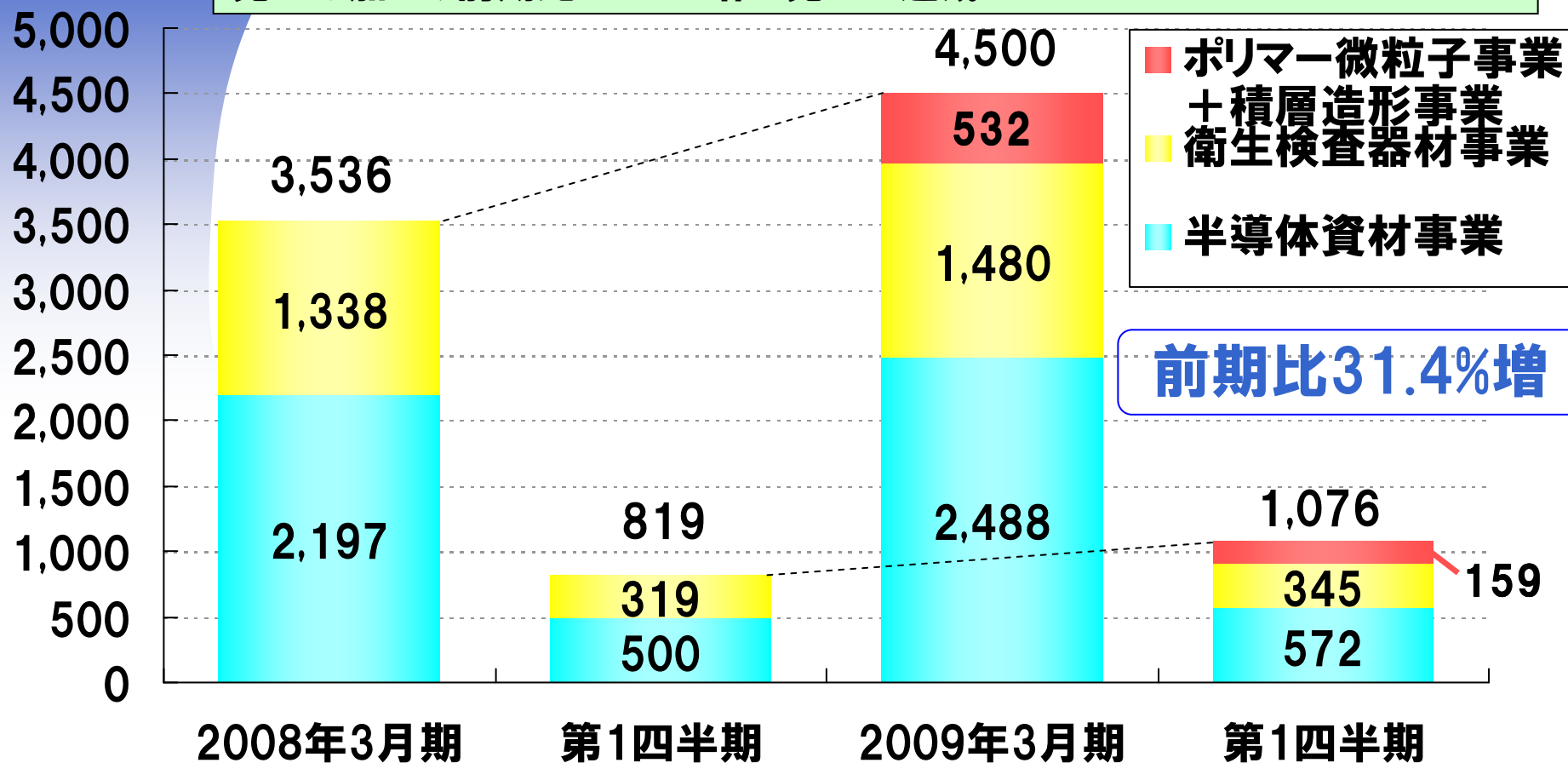
* 2009年3月期第1四半期よりダイプラ数値を合算

- ・ 本社 → スペーサーテープ洗浄設備、シャーレ成形設備、金型製造設備
- ・ 子会社 → ダイブラ3次元造型機、アテクトコア機械設備

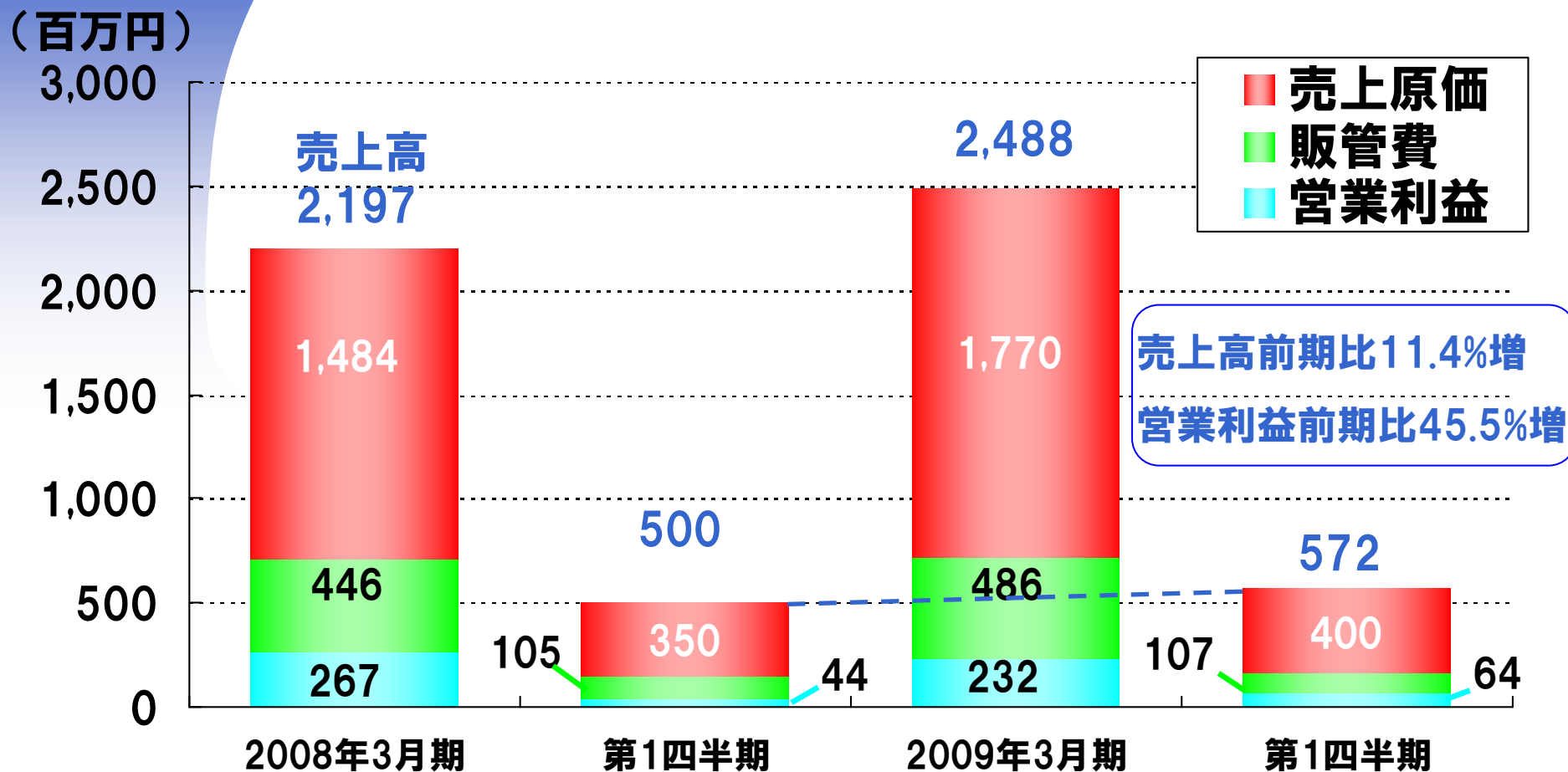
(単位:百万円)



半導体資材の受注が前年度より引き続き堅調、ダイプラの射出成形事業の売上も加わり前期比31.4%増の売上を達成

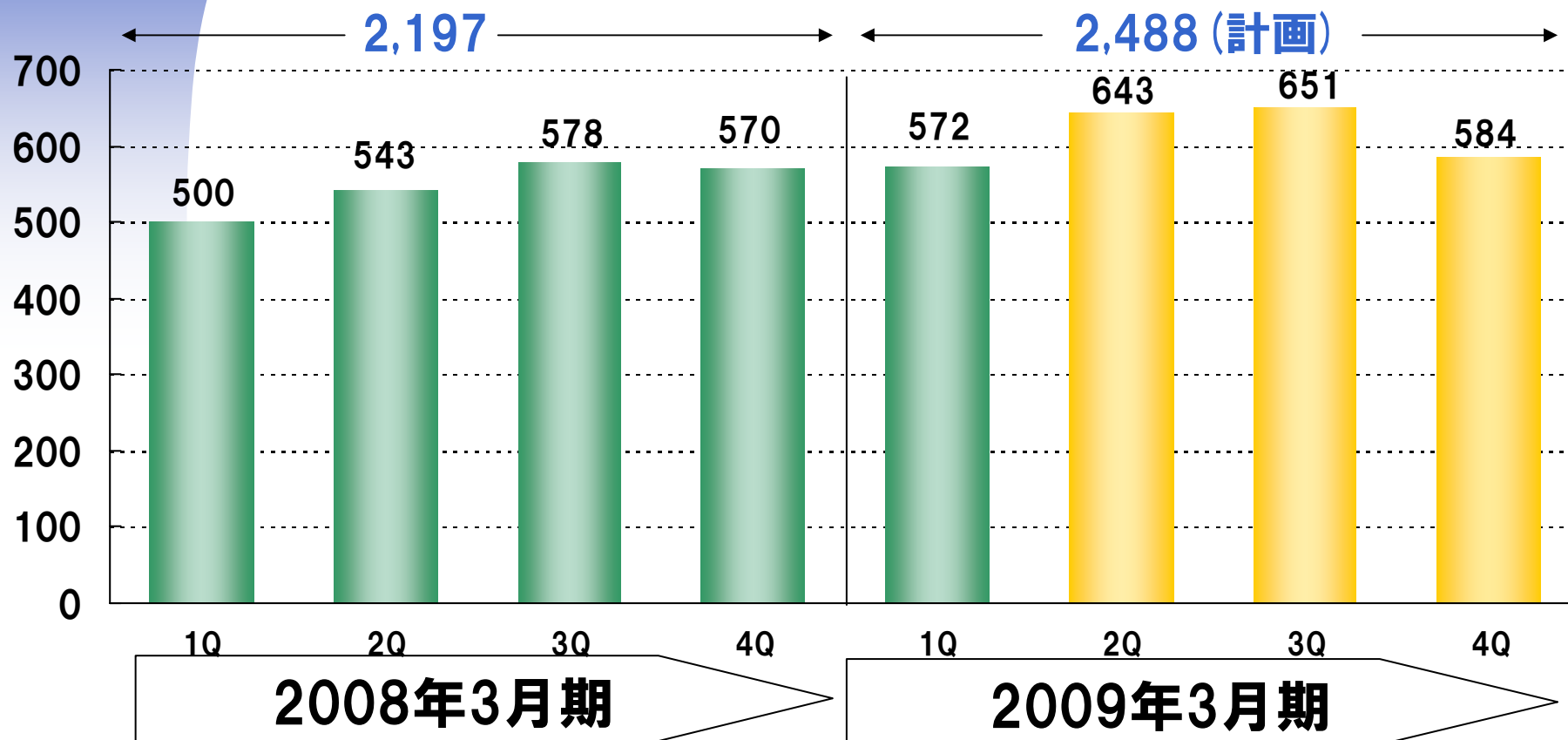


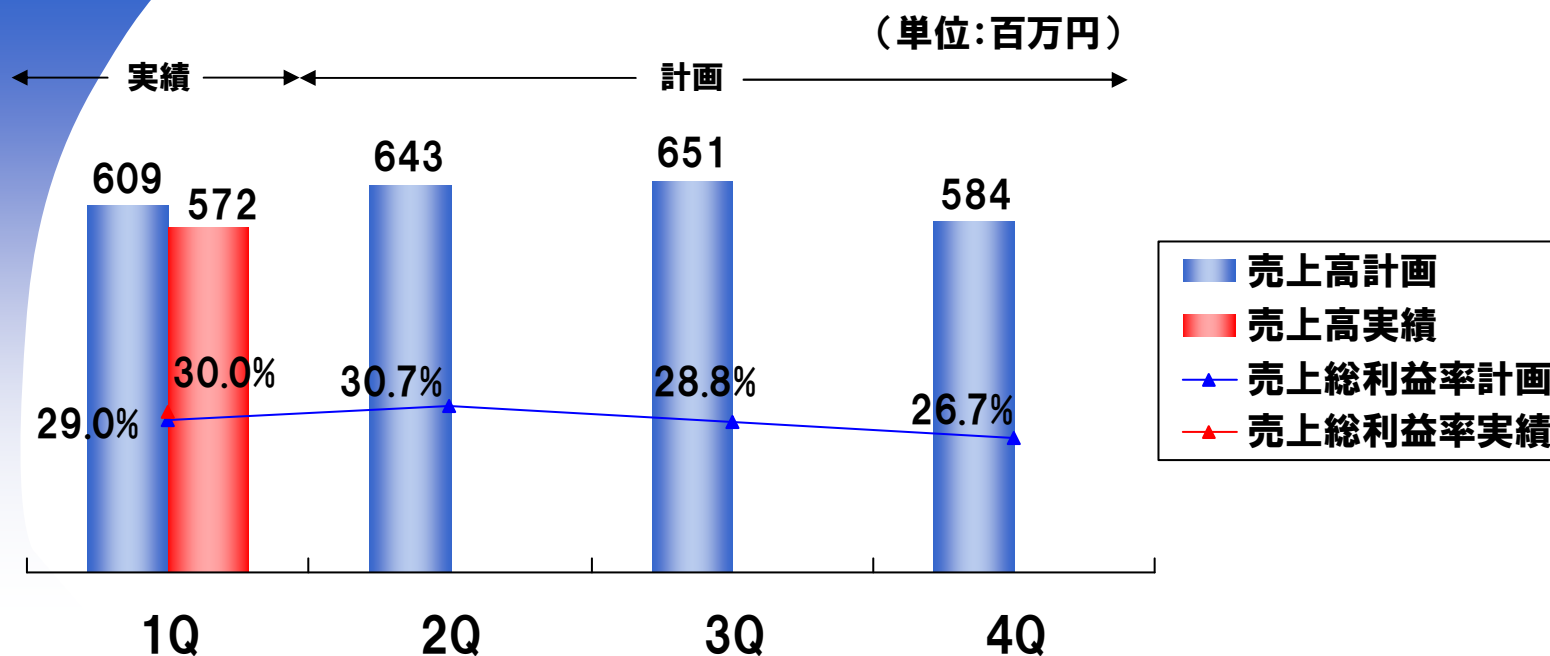
アテクトコリア稼働開始、受注は前年度から引き続き堅調



(百万円)

フラットパネルディスプレイの堅調な伸びに支えられ、順調に推移。



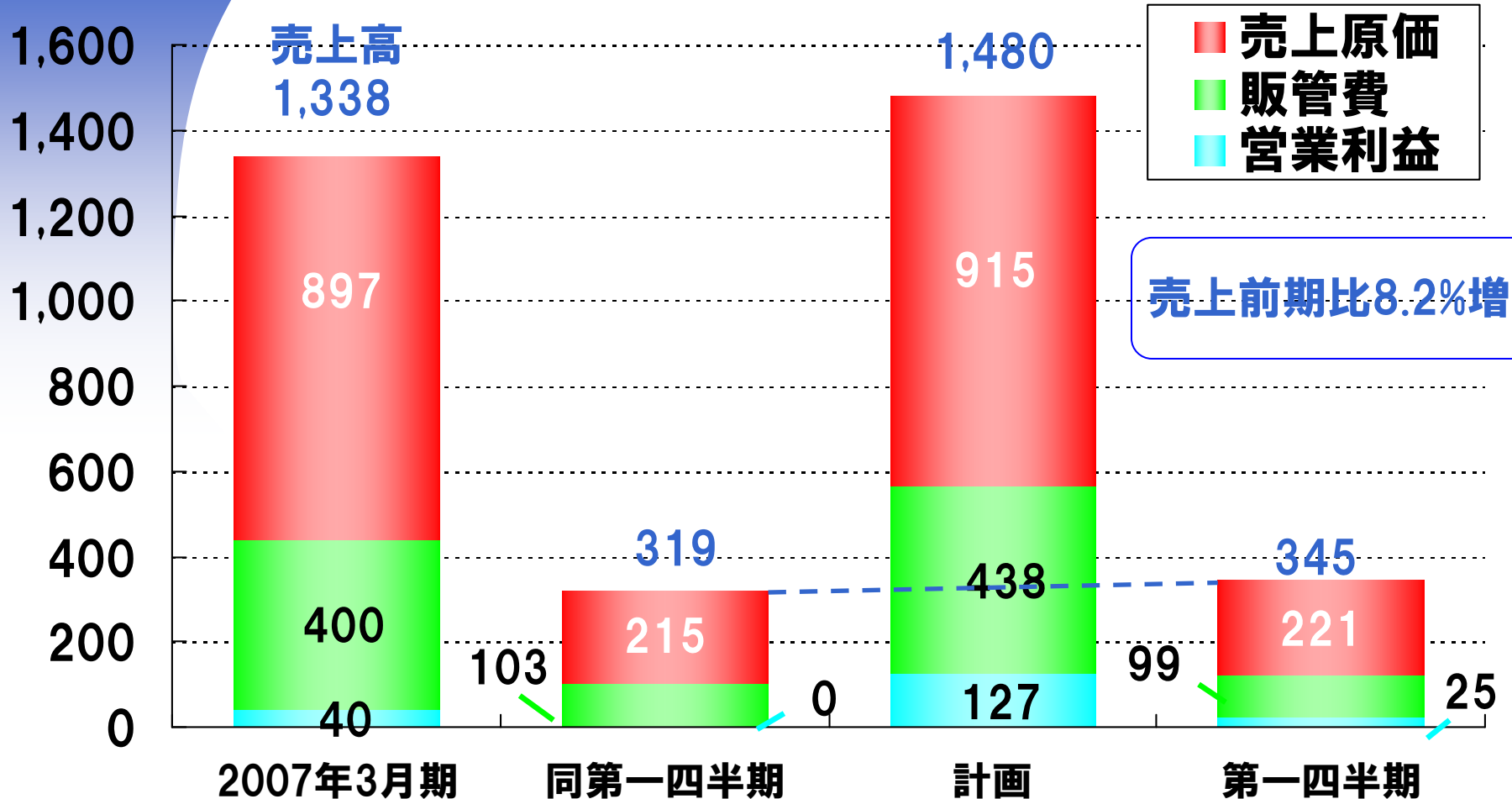


差異要因

- ◆ アテクト코리아の受注が一部2Q以降にずれ込みがあるものの、本社事業順調により売上総利益率は計画を上回る

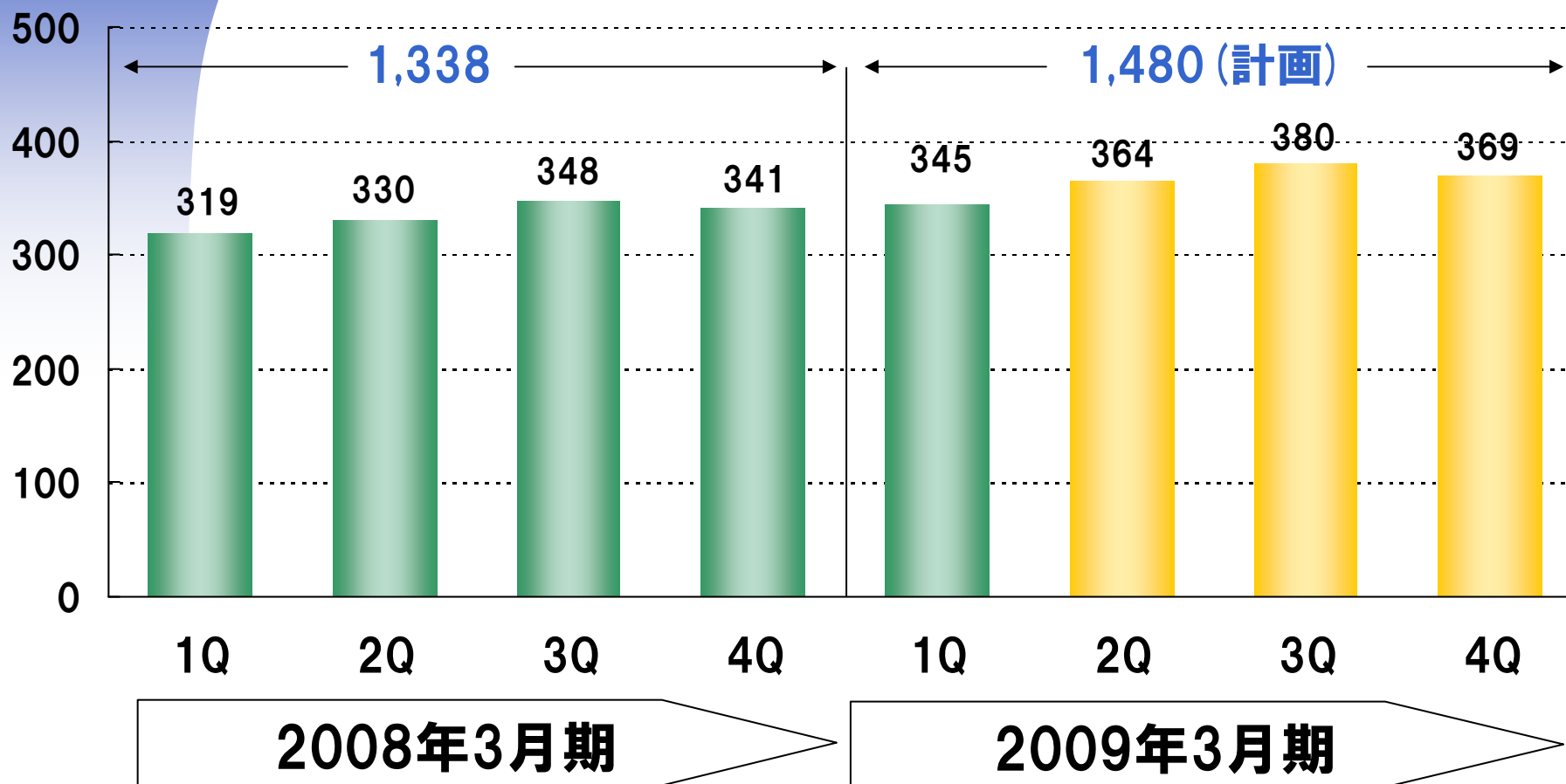
(百万円)

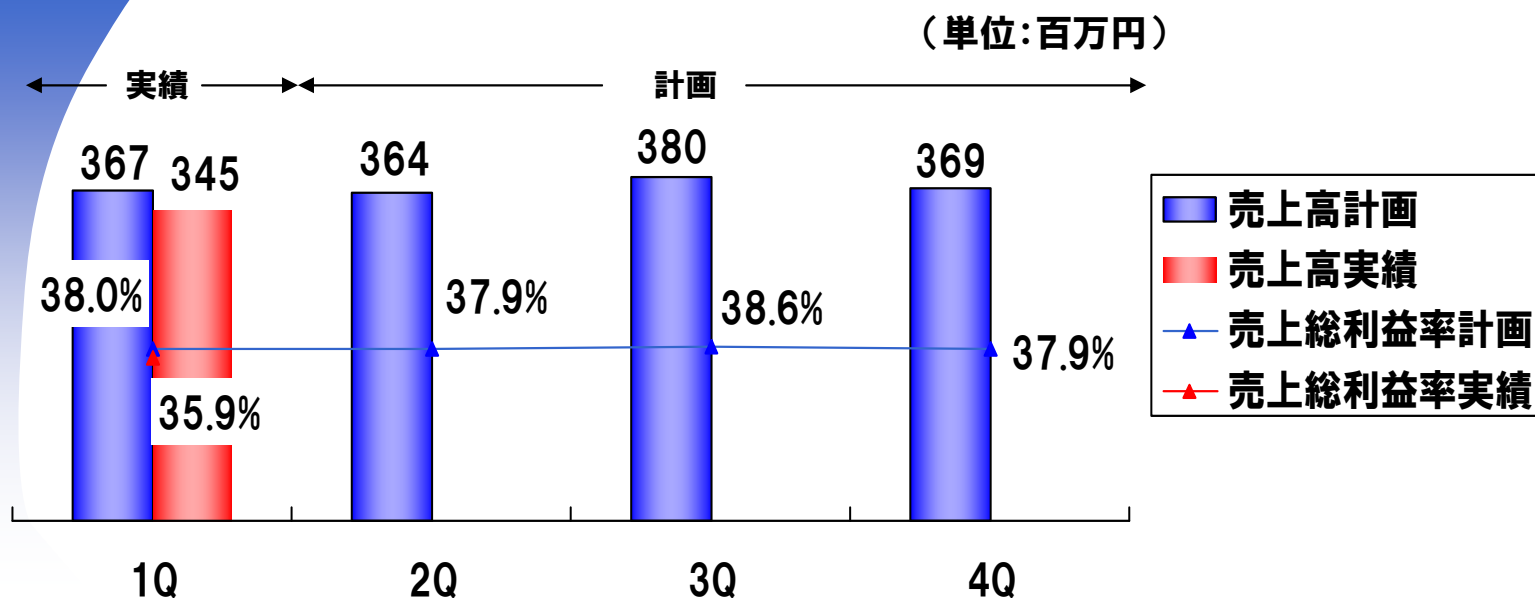
新規顧客の獲得、一部販売価格の見直し等により順調に推移



シェア売上高が好調に推移し、前年比8.2%増収

(百万円)

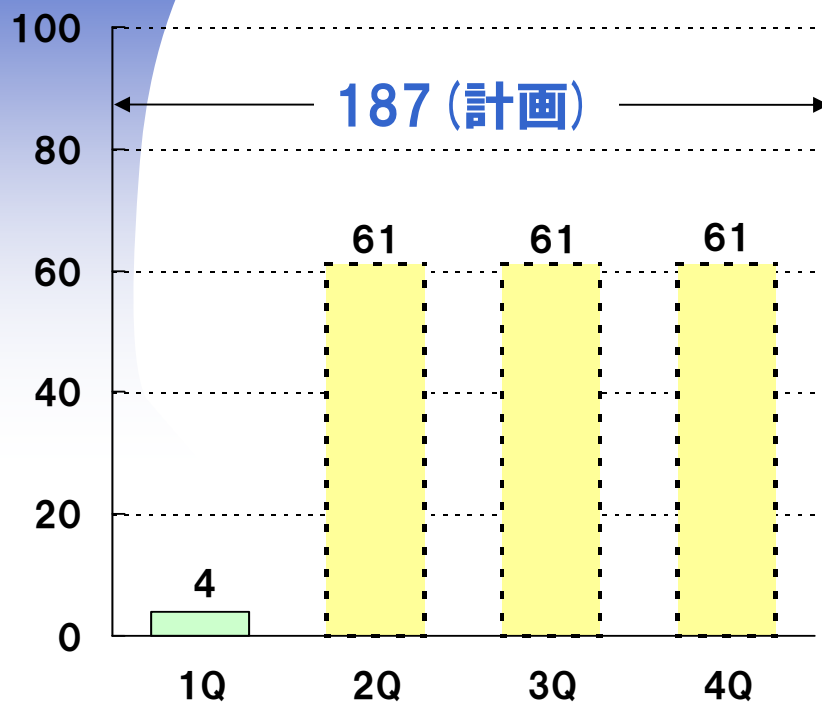




差異要因

- ◆ 生培地製品と仕入れ商品で計2,500万円の未達
- ◆ シャーレ原材料(ポリスチレン)の価格高騰により、売上総利益率未達

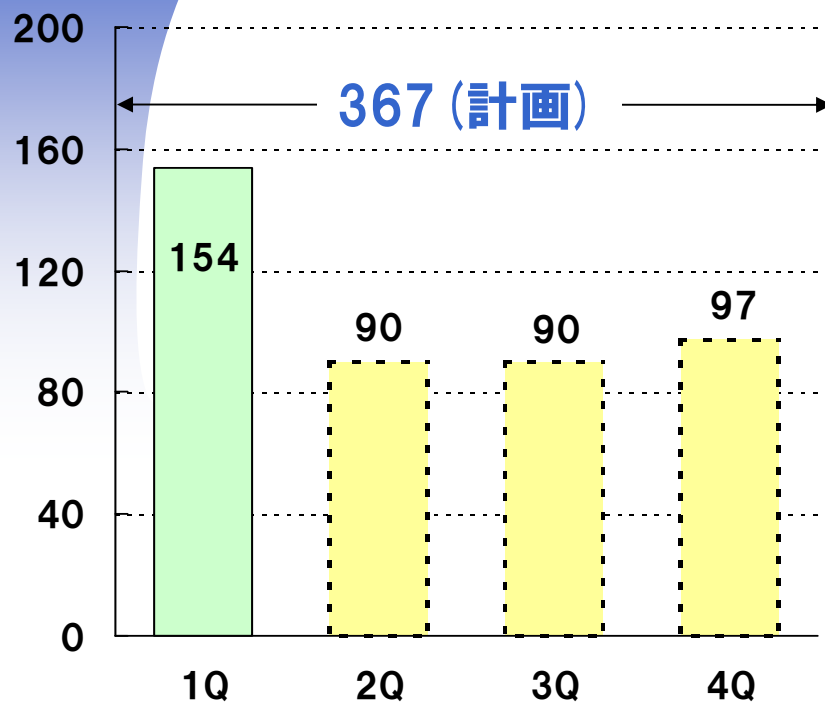
(百万円)



2009年3月期

- 米3Dシステムズ社への積層造形材料の販売が第2四半期中に開始予定
- ポリプロピレンに続く材料開発
- 北本工場に増産体制構築中
⇒人員増強等

(百万円)



2009年3月期

- 順調に推移
⇒販売価格見直しによる黒字化
- 金型部門のアテクトへの移籍による一元化と効率化
⇒拠点統廃合の一部完了

第2部

atect

2009年3月期 通期予想

売上高----【45億円】当初計画どおり。

- ① 半導体資材事業【24.9億円／前期比13.2%増】
前年度から引き続き受注は堅調。
- ② 衛生検査器材事業【14.8億円／前期比10.6%増】
新規顧客の獲得、一部販売価格の見直しにより増加。
- ③ ポリマー微粒子事業・積層造形事業【5.3億円】
計画通り第2四半期以降本格的稼働。

営業利益----【3.1億円】当初計画どおり。

衛生検査器材事業の原材料価格高騰の中、当初計画通りの利益を見込む。

●5月の初受注以降、順調に拡大

⇒5月 210千m 38百万won

6月 930千m 119百万won

7月 1,800千m 306百万won

●生産品輸出の可能性を模索

⇒韓国国内のみならず日本及び台湾への供給

●韓国内競合企業とのアライアンス検討を継続

⇒提携による事業拡大を模索中

●さまざまな分野への進出の可能性

⇒粉末積層造形用材料

⇒トナー関連分野

⇒研磨用砥粒



●熱可塑性ポリマー微粒子化の卓越した技術

⇒さまざまなコンポジット材料の生成が可能

- プロトタイプからリアルパーツへ
- パーソナライズ
- コンシューマプロダクツ



**2008年3月期の配当を実施
一株あたり20円(2008年6月27日)
*分割後10円**

今後の中間配当実施を引き続き検討

第3部

atect

参 考

(単位:百万円)

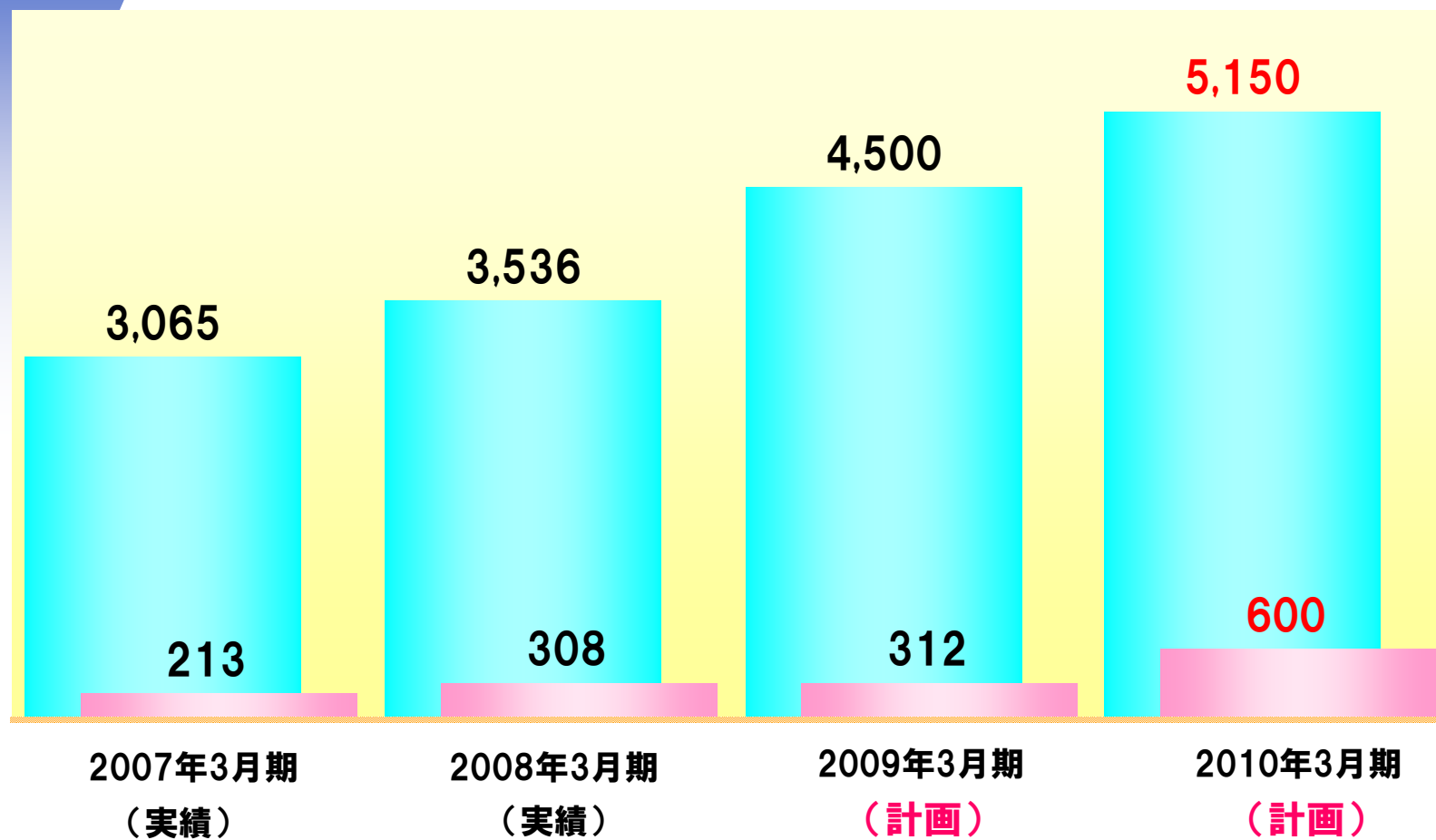
	2008年3月期 (実績)	2010年3月期 (計画)	年平均 伸び率
売上高	3,536	5,150	20.7%
営業利益 (営業利益率)	308 (8.7%)	600 (11.7%)	39.6%
経常利益 (経常利益率)	270 (7.6%)	554 (10.8%)	43.2%
ROA (総資産当期純利益率)	※ 5.5%	5.1%	—
研究開発費売上 高比率	2.1%	5.0%	—

※単体数値

■ 売上高

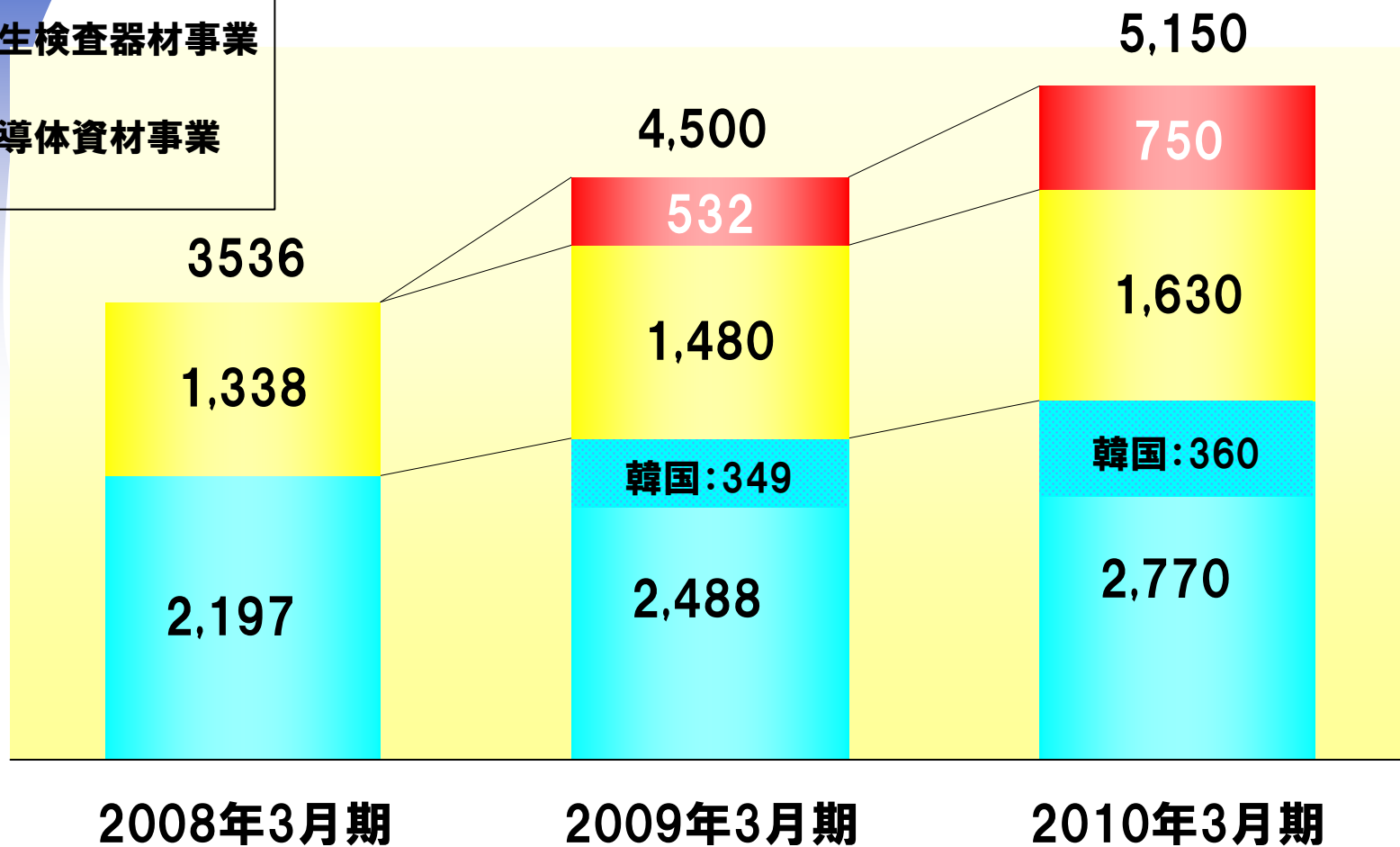
■ 営業利益

(単位:百万円)



(単位:百万円)

- ポリマー微粒子事業
+ 積層造形事業
- 衛生検査器材事業
- 半導体資材事業



年月日	IRイベント	場所	
2008年4月30日	2008年3月期期末業績開示		済
2008年5月2日	2008年3月期期末決算説明会	東京	済
2008年6月26日	株主総会	ヒルトン大阪	済
2008年7月31日	2009年3月期第1四半期業績開示		済
2008年8月1日	2009年3月期第1四半期決算説明会	日本証券アナリスト協会会議室(東京)	
2008年8月2日	個人投資家向け会社説明会	丸ビルコンファレンススクエア(東京)	
2008年10月31日	2009年3月期第2四半期業績開示		
2008年11月上旬	2009年3月期第2四半期決算説明会	東京	
2008年11月上旬	個人投資家向け会社説明会	東京or大阪	
2009年1月31日	2009年3月期第3四半期業績開示		
2009年2月上旬	2009年3月期第3四半期決算説明会	東京	
2009年2月上旬	個人投資家向け会社説明会	東京or大阪	

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 管理ディヴィジョン IR担当

TEL : 072-967-7000

E-mail : ir@atect.co.jp